

【高等学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている C:やや不十分である
 B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名 **佐賀県立唐津商業高等学校 (全日制)**

1 前年度 評価結果の概要 (簡潔に)

- 生徒の学ぶ意欲を高めることにつながる授業の実践は、職員全員が一丸となって取り組むべき課題であり、今後も常に教材研究をはじめとした職員研修に励み、生徒のさらなる適切な進路選択につながるよう、粘り強く指導を行う。
- 「ホスピタリティマインド(気配りができる心の持ち方)」の会得と商業高校生としての専門的知識・スキルの習得の両立はある程度達成できているが、他校との優位的な差別化ができるよう職員の指導力の向上を図る。
- 地域社会と共存する取組は、コンポストや「やめられない」に代表される商品開発等の取組として実践できているが、全国上位レベルの賞も受賞できた。今後も、地域から必要とされる学校づくりや地域の発展に役立つ能力を身に付けさせる取組を行っていく。

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標

- 幅広い知識と教養を身に付け、自ら考え行動する資質を育み、ふるさと唐津や我が国の発展に貢献できる人材(人財)を育成する。
- 地元唐津の人や企業、観光資源等に目を向け、地域社会との協働のもと、唐津の持つ隠れた魅力を再発見する探究活動を通じて、学校及び地域のさらなる活性化を目指す。
- 普通教科の深い学びと幅広いビジネス教育を通して、職業人として必要な豊かな人間性を育み、幅広い知識と教養を身に付け、常に当事者意識を有し、自ら考え行動できる人材を育成する。

	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
3 スクール・ポリシー	① 礼節を重んじ人を思いやる心を持ち、本校での学びに必要な学力を有する生徒を求めます。 ② ビジネスを学ぶことに興味・関心があり、専門的な知識・技能の習得や資格取得に意欲的に取り組むことができる生徒を求めます。 ③ 世の中の激しい変化に対応できるように自らを変え、成長させるため、根気強く努力することができる生徒を求めます。 ④ 生徒会活動や部活動等を通して、学校の活性化に寄与することを期待できる生徒を求めます。	① 知識・技能を活用する実践力を身に付けるため、検定資格取得の機会を設けます。 ② 教育講演会や各教科・科目の授業において幅広く外部人材を活用します。 ③ 探究活動を通じて、意欲的に地域について学び、地域行事や奉仕活動に参加します。	① 様々な経済活動で役に立つ確かな知識や技能を身に付け、活用できる実践力を育成します。 ② 課題解決に必要な情報収集能力と情報分析能力を育成します。 ③ 自らの適性と世の中の動きを正確に理解し、自ら判断して行動する力を育成します。 ④ 自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳心を養成します。

4 本年度の重点目標

- 高校生としての生活習慣の確立
 主体的に学ぶ姿勢を有し、常に向上心を持ち続け、切磋琢磨しながらも互いを認め合い、互いに成長していく学校集団の形成を目指す
- 学力向上
 日頃の授業において常に「わかる授業」、「考える力(論理的思考力)をつける授業」を実践するとともに、個人の能力に応じた的確で適切な到達目標を設定し、能動的な学びを定着させる
- 商業教育の充実
 商業を学ぶ者として差別化できるだけの専門的な知識・技能を習得するため、設定した目標の資格取得に全力を挙げて取り組む。また、「ホスピタリティマインド」を会得し、利他の心を育み、職業人としての豊かな人間性を磨き上げる
- 地域社会への貢献
 常に社会貢献の視点をもち、学校自らの情報を積極的に発信しながら、地元の経済・産業界、教育関係機関(幼稚園・保育園・小学校・中学校・専門学校・大学)と積極的に連携し、地域社会と共に共存を意識した学校づくりを目指す

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		
				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
●学力の向上	○基礎学力の向上と定着 ○学力診断・各種適性検査の活用による指導の改善	○漢字カテットの平均点を6割以上・英語テストの平均点を8割以上 ○実力診断テストの学力別度数(GTZ)におけるレベルを2年生は50名以上、1年生は70名以上	・各種テストにおいて、普通教科の基礎学力の向上と定着の観点から重点的な指導を行う。 ・年2回実施する学力診断テストの客観的なデータを活用し、教科指導にあたる。	・	・	・	・	教務主任 各教科主任 各学年担当者
	○確かな知識と技術の習得 ○高度な資格取得	○会計科は3年次までに日商簿記検定2級を90%以上取得 ○商業科情報処理コースは、3年次までにITパスポートを30%以上取得 ○商業科OAコースは、3年次までに全商検定2種目以上の1級取得	・実社会に出るための準備としての資格取得の意味を理解させるとともに、それらの応用力を養う支援を行う。 ・資格取得の有効性を考えさせる進路支援を行う。	・	・	・	・	教務主任 各教科主任 各学年
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○授業や特別活動、部活動など教育活動における様々な機会を用いて、指導を行った職員の割合90%以上。 ○SNSを適切に扱っているとする生徒の割合85%以上	・授業、特別活動、部活動等すべての教育活動において、道徳教育を念頭に置いた指導を行い、人や社会の多様性、命の大切さ、他者への思いやり的心を身につけさせる指導を行う。	・	・	・	・	生徒支援部主任 各学年
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの防止策について、日頃から組織的に対応しているとする職員の割合90%以上 ○いじめを許さない教育が行われているとする生徒の割合80%	・いじめ認知、認知の定義について職員会議等で周知徹底するとともに、対応マニュアルの見直しを行う。	・	・	・	・	生徒支援部主任 各学年
	◎ふるさと唐津への思いを醸成するための教育活動	◎佐賀県や唐津市(地元)に誇りと愛着を感じる生徒の割合85%	・地域の伝統文化に精通している人や地域貢献活動を行っている人を招いて、講演会を行う。	・	・	・	・	教務部 さがを誇りに思う教育推進 事業担当者
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に良い食事をしている」生徒80%以上	・食育だよりの発行や食育講演会の開催を通して食に関する知識や興味関心を高め、毎日の食事を大切にしている生徒を育てる。	・	・	・	・	保健部
	○健康診断後の受診率向上	○健康診断後の各検査に受診率を50%以上	・健康診断後の受診勧奨と保健指導を継続して行う。	・	・	・	・	保健部
	○綺麗で安心・安全な学校づくり	○校内が安心安全な環境となるよう整備点検に務め、ゴミの持ち帰り等、校内環境美化や整理整頓に取り組んでいると感じる生徒の割合を80%以上にする。	・安全点検を毎月実施する。 ・各クラスの保健委員による掃除点検を実施する。	・	・	・	・	保健部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日(水曜日)の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休業日の設定 ・定期考査中の午後には会議を実施しない ・アンケート等のICT化	・	・	・	・	管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する教員の専門性が以前より向上したと回答した職員70%以上	・スクールカウンセラーによる校内の特別支援教育研修はもちろん、県が主催している特別支援教育スキルアップ研修を受講するよう、職員に呼び掛け、専門性を高める。	・	・	・	・	特別支援教育コーディネーター

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	○★コミュニティスクールの推進 ○実践型ビジネス教育を実施 ○地域との連携	○★地元企業に求められる人材を育成する。 ★月2回の外部講師の招聘 ★週1回のSNS更新 ★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合90%以上、職員95%以上。 ★県外からの入学者数2人以上	・地域・企業等と協働した学校運営を行う。 ・校内組織を立ち上げ、高校魅力化の取組を強化する。 ・SNS等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。 ・福岡県での高校説明会開催	・	・	・	・	・	・	
○地域貢献活動	○地域清掃・イベント活動参加を通して広く地域から支持される生徒を育成	○虹の松原清掃活動を実施、参加率90%	・地元NPOとの協力・指示のもと実施する。 ・職員もボランティアとし必ず参加する。	・	・	・	・	・	・	学校魅力化促進事業担当 生徒会

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育 ★...唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望 (簡潔に)

・

・

・